



PTNA Piano Competition

2018年度ピティナ・ピアノ コンペティション課題曲セミナー

2012年特級グランプリ、2014年特級銅賞、2015年特級銀賞を輩出、全国各地でセミナーやトークコンサートが大好評を博している赤松林太郎先生を講師にお迎えし、2018年度ピティナ・ピアノコンペティション課題曲セミナーを開催いたします。その明晰な語り口で感覚が「言葉」に変わります。コンクールだけでなく、日頃の指導でも役に立つ内容が満載！

主にA1～Cのバロック、古典、近現代曲、D級は近現代曲のみを取り上げます。

※一部抜粋となる場合がございます。※課題曲楽譜の販売も予定しております。

日時：2018年3月22日(木) 10:00-13:00

会場：ホルトホール大分 小ホール

受講料：会員 4,500円
(税込)
一般 5,000円
学生 2,500円



講師：

赤松 林太郎 先生

1978年生まれ。2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曾根実氏や故・芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全国日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。1993年仙台市教育委員会より平成5年度の教育功績者に表彰。1996年第一回浜松国際ピアノアカデミーに参加。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロマを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミュー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチュツ、クリスチャン・イヴァルディ、音楽学を岡田暁生の各氏に師事。2000年にクララ・シューマン国際ピアノコンクール(審査員にはマルタ・アルゲリッチやネルソン・フレイルなど)で第3位を受賞した際、Dr.コヤヒム・カイザーより「説明かつ才能がある」と評された。国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、韓国など公演で回る。2016年よりハンガリーのダヌビア・タルツ国際音楽コンクールの審査員長を務める。2017年にドナウ交響楽団と再演、ヴァーツの国際音楽祭にも招聘される。これまでに新田ユリ、手塚幸紀、堤俊作、西本智実、山下一史、デアーク・アンドラーシュの指揮のもと、東京交響楽団やロイヤル・メトロポリタンオーケストラ、ロイヤル・チェンバーオーケストラ、ドナウ交響楽団などと共演。NHK交響楽団や東京フィルハーモニー管弦楽団などのメンバーと室内楽も行い、多くの音源(YouTube)に残している。2014年にキング・インターナショナルから「ふたりのドメニコ」(レコード芸術準特選盤)、「ピアソラの天使」《そして鐘は鳴る》(準特選盤)をリリースして各誌で絶賛される。1,000名以上の指導に携わり、国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している(PITNA特級グランプリ・銀賞・銅賞、東京音楽コンクール優勝他)。審査員やマスタークラスの講師はもちろむ、エッセイストとして新聞や雑誌にも連載を持っており、新刊として『赤松林太郎 虹のように』を出版(道と書院、2016年)。「美しいキノコ」にたびたび出演・掲載されている。現在、全日本ピアノ指導者協会評議員・演奏研究委員、フダベス国際ピアノマスタークラス(ハンガリー国立リスト音楽大学共催)講師、洗足学園音楽大学客員教授、<http://rintaro.jp/>

2018年度ピティナ・ピアノコンペティション

大分地区予選開催予定

前期：6/2(土)、3(日) コンパルホール(3F多目的ホール)

後期：7/1(日) ホルトホール大分 小ホール

※会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

【主催・お申込み・お問合せ先】

ピティナ 大分YUMEステーション

TEL:097-552-5650 FAX:097-552-5650

協力：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

※下記の申込書にご記入のうえ、お電話またはFAXにてお申込みください。受講料の事前振込をお願いしております。右記振込先まで受講料の振り込みをお願い致します。ピティナHPからのお申込み(事前振込、クレジットカード決済)も可能です。<http://www.piano.or.jp/seminar/list/compe>

【振込先】

ゆうちょ銀行

記号 17200 番号 24629241

ワタナベ ナオミ

◆ 2018年3月22日(木) 赤松林太郎先生 コンペ課題曲セミナー申込書 ◆

氏名	ふりがな	会員種別	<input type="checkbox"/> 会員	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 学生
		e-mail			
住所	〒	TEL	()
		FAX	()

※お客さまが本書面に記載された個人情報は、法令で定める場合のほか、お客さまの承諾なしに他の目的には使用いたしません。

ピティナ・ピアノセミナー概要

本チラシのセミナーは、「ピティナ・ピアノセミナー」のシリーズに該当しております。「ピティナ・ピアノセミナー」とは、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)の支部・連絡所・ステーション・団体会員が主催／共催している講座で、全国のピアノ指導者を対象に、継続的な指導力研鑽を支援しています。2007年度より、希望者には、「セミナーレポート」提出に伴う指導者ポイント付与、「受講証書」および「指導者パスポート」の発行をしております。

ピティナ・ピアノセミナーの特徴

①指導者パスポート

- ・ 受講者には、当日会場にて「受講シール」が配布されます。
- ・ 「受講シール」を「指導者パスポート」に貼付することで、セミナー受講記録として活用できます。
- ・ 「指導者パスポート」は、ピティナ会員で初受講の方に、無料にて配布します。

②セミナーレポート

- ・ セミナーの時間内で「セミナーレポート」を執筆する時間(10分程度)を設けています。
- ・ 「セミナーレポート」には、①セミナーの概要②受講の感想・意見、をご記入いただけます。
- ・ 「セミナーレポート」は、希望者には、講師にサインをしていただいた後、返却されますので、貴重な研修資料として保管できます。
- ・ 「セミナーレポート」の提出者には、指導者ポイントが1ポイントが付与されます。

③受講証書

- ・ 「セミナーレポート」を合計10回・25回・50回提出いただいた方には、「ピティナ・ピアノセミナー受講証書」が発行されます。

④指導者賞

- ・ 「セミナーレポート提出」による指導者ポイントは、ピティナ指導者賞のポイント対象となります。詳しい授与規定についてはピティナ・ウェブサイトでご確認下さい。(2012年度現在)

⑤指導者検定

- ・ 「セミナーレポート」は、「ピティナ・ピアノ指導者検定」のレポート課題の審査資料になります。詳しくはピティナ・ウェブサイトをご覧ください。

⑥ingプログラム

- ・ 「セミナーレポート」の提出者には、ingポイントが付与されます。また、「セミナーレポート」返却時にReportシールをお送りいたします。



指導者パスポート



セミナーレポート



受講証書



ingプログラム
Reportシール

2 申込から受講後の流れ

受講日前日まで

1. 受講申込み

チラシ掲載の受講申込書にてお申込ください。ピティナ・ウェブサイト(www.piano.or.jp)からも受講申込が可能です。

受講日当日

2. セミナー受講

受講日当日、会場にて、「受講シール」「セミナーレポート用紙」を配布します。

3. レポート提出

受講後、受付にてセミナーレポートを提出ください。やむをえず講座終了後に提出ができなかった場合は、講座当日中でしたらFAX(03-3944-8838)にて本部でレポートをお受付することも可能です。(尚この場合はレポートの返送はございません)

受講後1ヶ月以内

4. レポート返却

返却希望者には、提出されたレポートは、講師にサインをしていただいた後、提出者にピティナ本部より郵送にて返却します。ピティナ会員の方にのみ、初回提出レポート返送時に、指導者パスポートを同封いたします。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(略称ピティナ)

〒170-8458 東京都豊島区巣鴨1-15-1

TEL: 03-3944-1583 FAX: 03-3944-8838 E-mail: seminar@piano.or.jp

www.piano.or.jp/seminar

※「ピティナ・ピアノセミナー」に関する詳細は、ピティナ・ウェブサイトをご覧ください。
ご不明な点等は、本部事務局まで直接お問い合わせ下さい。